

県立鹿児島工業高等学校同窓会会報

ろっこう No.11
2021/OCT



誠創精校
実造進訓



一、紫にほふ桜島

その美はしさ気高さに
吾等の意気をたぐへてむ
清き流れの甲突の
夜昼舎かぬいそしみに
わが精進の則を見む

二、伊敷の原に聳え立つ

大煙突のいただきよ
空をおほうて立つ煙
工場におこる朝夕の
天地どよもす響きこそ
わが鹿工の行進歌

三、名君島津斉彬公

新工業を開かれし
集成館も程近し
自然に歴史に恵まれし
幸を思うていざ進め
鹿児島工業学生われら

同窓会会長ごあいさつ



同窓会会長

永里 和吉

・生年月日 S26.8.4 69歳
・学歴、職歴
S45 鹿児島工業高等学校工業化学科卒
S50 日本大学建築学科 卒
国鉄、海上保安庁 県教委(教員、教頭、校長)
・趣味 ゴルフ、スポーツ観戦

同窓生の皆様、ご健勝のことと存じます。

この会報誌の原稿を書いているのは、東京五輪最終日の男子マラソン大迫選手の応援の最中である。新型コロナウイルスの影響で1年延期され、大半が無観客となる異例の大会となったが、最終日にやっと沿道の人たちの臨場感あふれる歓声を聞き、ホッとした気分になったのも私だけではなかったのではないのでしょうか。

日本は過去最多を更新するメダルラッシュに国民は沸いたが、感染拡大の局面とも重なり受けとめ方は一様でないように感じる。しかし、史上最多となる27個の金メダルを獲得し、コロナ禍で暗い世相ゆえにオリンピックというドラマに心躍る思いがした。鹿児島県出身の柔道女子濱田尚里選手とソフトボール川畑瞳選手も金をもたらし、県民に大きな力を与えてくれました。

さて、本年は感染力の強い変異型コロナウイルスが主流になり各地で緊急事態宣言が発令されるなど身近にせまりつつあり、早めのワクチン接種や治療薬の開発が待た

れるところです。

このような状況の下、今年度の本部総会行事につきましては様々検討しましたが、役員会により昨年度に引き続き懇親会を中止せざるを得ないと判断しました。なお慰霊祭・総会は鹿児島県内在住の方のみの縮小した形で実施しました。事情をご賢察いただきご理解とご協力をお願いいたします。

なお、実施した慰霊祭については、大保校長を含め約20名の参列者で護国神社にて、恩師及び同窓生の御霊を祀りました。この中には昨年末に亡くなられた牧之内繁男(昭17機)元九州支部長、是枝清上(昭31電)元関西支部長の名もあり、支部創設からご尽力頂いた功績や母校及び同窓会へのご厚志に感謝申し上げます。謹んで哀悼の意を表します。(総会の内容については別紙にて報告。)

故牧之内・元九州支部長が自著『為せば成る』で企業経営の極意は“積極的”だと説いている。「心が積極的であれば人生どんな場合でも、明朗、颯爽、ハツラツ、勢いの満ちたものになるが、反対に消極的だと人生のすべてが勢いを失くす。」・・・このような時代だからこそこの言葉が身に染みるようです。

最後に、一日も早いワクチン接種が順調になされ、少しでも安心して社会生活ができるようになることを願いつつ、母校の繁栄と会員の皆様のご健勝・ご活躍を祈念申し上げごあいさつとします。来年度総会は皆さんとマスクなしで、お会いできることを楽しみにしています。

学校長ごあいさつ



学校長

大保 智

・生年月日 S38.3 58歳
・学歴、職歴
S60.3 福岡工業大学電子機械工学科卒
S60.4 鹿児島県教員へ採用
H 8.4 鹿児島工業高校勤務(教員8年間)
H26.4 鹿児島工業高校勤務(教頭2年間)
(県教委: H23~25年度、H28~29年度)

今年は、旧建築棟が解体された跡地に新I類実習棟を建設中であり、今年度中の竣工が予定され、電子機械系、電気技術系の実習室が入ることとなっています。平成20年の学校創立100周年の年に体育館の建て替え工事が始まってから今年で13年目になります。

さて、創立113周年を迎えた同窓会総会は県内在住の役員・関係者で執り行われたと聞いております。しかし、懇親会や各支部の総会が新型コロナウイルス感染症への

対応で2年連続の中止になるなど役員の皆様は苦渋の決断があったかと思います。学校においても影響がありましたが、学校教育活動を可能な限り止めないようできるだけ工夫しながら進めております。その中で、生徒は元気に登校し、学校には活気があります。

今年も3年生の進路選択への影響が懸念されていましたが、県内外の企業様から昨年度以上の求人いただき、これまで築いていただいた母校の伝統と社会で活躍されている先輩方に感謝しているところです。生徒一人ひとりの希望が叶い、結果として20年連続の就職内定率100%や進学先決定となるよう、精進していきます。また、学校の重点目標として、「挨拶、時間、清掃、習慣」をキーワードに『明るく元気な学校』を掲げています。在校生には、コロナ禍にあっても『明るく元気な学校』で新たな歴史を刻んで欲しいと願っています。

最後になりましたが、学校からの情報発信に努めてまいりますので、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

満丸前校長の感謝の挨拶



前学校長

満丸 浩

・生年月日 S35.5.2 60歳
・学歴、職歴
S54.3 甲南高校卒
S58.3 鹿児島大学工学部機械工学科卒
H27.3 山口大学大学院技術経営研究科修士
S58.4 三洋電機 7年間勤務
H 2.4 鹿児島県教員へ採用

同窓会会員の皆様、益々ご健勝のことと存じます。コロナ禍の中にあっても全国の各支部がまとまり、母校へ対する熱い支援をいただき感謝の気持ちでいっぱいです。在任中の2年間は特に、ラクビー、バレーボール、ソフトボールをはじめ全国・九州大会へ出場した部活動への物心両面にわたる支援へは、生徒・保護者からも感謝の言葉が続きました。皆様の思いが学校を元気にし、また、「鹿工に入学したい」という新入生確保に繋がっていました。第五期となるI類実習棟の新築工事、グランド整備を経て学習環境も新時代を迎えます。「ろっこう」の更なる飛躍と皆様の益々のご活躍を期待しております。

I 類実習棟改築工事は来年 2 月完成

I 類（電子機械・電気技術・工業化学・情報技術）の実習棟の改築工事が順調に進んでいます。建物はRC造3階建 3,880㎡の規模で、令和4年2月完成予定で、ひと月かけて工作機械や試験機を移設します。来年夏ごろには建物に隣接する電子機械実習棟等3棟が解体されて、グラウンドが拡張されます。これらの工事が終わると、2007年度屋内体育館からの一連の校舎耐震化工事が完了します。

(7月19日の建築現場)



同窓会入会식을 2 月末開催

2月28日本校の体育館で令和3年鹿児島工業高校同窓会入会式を開催し、永里会長ら本部役職員、3年生355名と担任教員が参加しました。会長からは「実社会では人間関係などで悩むことがある。同窓会の県外支部も相談に乗るので利用してください」と歓迎挨拶がありました。続いて入会記念品の「ビジネスマナー」の本を、代表して東福暖さん（工業化学系）へ贈呈しました。その後、新入会員を代表して日高颯さん（建築系）が「伝統ある鹿工の誇りを大事にして社会で頑張りますので、ご指導をお願いします」と挨拶しました。



第9回鹿児島四高OB交流ゴルフ大会

第9回鹿児島四高OB交流ゴルフ大会が、去る10月23日 鹿児島市の島津ゴルフ倶楽部で開催されました。参加者は鹿児島商業、玉龍、甲南及び鹿児島工業のOB、OGで、今年は144名が参加しました。鹿工同窓会の上位入賞者は芹ヶ野さん（S45 土木卒）がネット72.0で準優勝、3位にベストグロスの上山さん（S42 土木卒）、4位に福添さん（S50 工化卒）でした。なお、表彰式も兼ねた懇親会については、コロナ感染防止するため中止とし、賞品は郵送しました。



令和 3 年度 同窓会総会と慰霊祭を粛々開催

同窓会本部は現下の新型コロナ感染防止を踏まえて、懇親会を休止する一方で同窓会総会と慰霊祭を県内在住の限定者で、7 月 3 日午後 1 時開催しました。最初に鹿児島市の護国神社で慰霊祭を、続いて同窓会館で総会を開きました。慰霊祭では、代表者が亡師・亡友の霊に榊を捧げました。

総会については、県外支部の役員の方々は書面評決方式で、県内の同窓会役員や幹事の方々は参席により議案審議を行いました。議案は、活動報告や予算・決算並びに会則変更（相談役の新設）役員承認の 4 議案でしたが、全員の賛成意見で提案どおり承認されました。内訳としては、総会出席者 18 名と書面評決の 50 票の賛成が集約できました。なお、来年度は 7 月 2 日（土）城山ホテル鹿児島にて開催予定です。



慰霊祭の参加者集合写真



総会の審議状況写真

令和 3 年度 同窓会総会の活動を終えて

「中途半端で終われない」という思いから 2 年連続の実行委員を自分達から志願して、同窓会総会開催について検討や準備を行ってきました。コロナ感染防止のため、残念ながら 2 年連続で懇親会を中止するという状況になりました。ご支援いただいている同窓会会員の皆様や母校に何とか恩返しをしたいという思いから、実行委員会全員で知恵を出し合い、YouTube による抽選動画や校歌の作成等を行いました。懇親会の抽選会の景品である有名焼酎や手作りの心のこもった工芸品でしたが、南日本新聞への広告応募者の中から、抽選で当選された方へのお礼の品に活用しました。初めての取り組みであり、抽選会の動画撮影は何度も NG を出しながら、試行錯誤の撮影でした。折角やるのだから、事務的な作業だけではなく、実行委員会がやった証を何か形に残したいと頑張ってきました。至らないことが多々あったとは存じますが、ご了承ください。来年度こそは、コロナが落ち着き、皆様方と笑顔でお会いできる日を楽しみにしています。

（実行委員長 平岡旭洋 H11 建設技術系）

同窓会会則の変更箇所（令和 3 年度同窓会総会で承認）

変更の目的は、会長が重要な課題を諮問するため、相談役を新設するものである

第 5 条 (8) 相談役 若干名

第 6 条 (6) 相談役は会長経験者の中から会長が指名する

第 7 条 (6) 相談役は会長の諮問に応じ、必要に応じて各種会議に参加し、特定事項を担当する

一般会計、総会会計、教育振興会計の報告

一般会計 R2 決算

収入の部 (単位 円)				
科 目	予算額(A)	決算額(B)	増減(B)-(A)	備 考
前年度繰越金	2,195,378	2,195,378	0	
入 会 金 会 費	2,120,000	2,138,400	18,400	生徒 200 円×1,060 名×10 ヶ月
同窓会運営協力金	0	0	0	総会会計より(新型コロナウイルスにより懇親会中止)
寄 付 金	0	3,000	3,000	池田五男様
雑 収 入	0	57,000	57,000	名簿売上
利 息	122	25	△ 97	
合 計	4,315,500	4,393,803	78,303	

支出の部 (単位 円)

科 目	予算額(A)	決算額(B)	増減(B)-(A)	備 考
定 例 会 費	150,000	135,552	△ 14,448	定例役員会
幹 事 会 費	50,000	0	△ 50,000	総会資料発送(総会会計にて計上)
需 用 費	60,000	15,208	△ 44,792	事務室電気使用料、事務用品、名刺、封筒
通 信 費	400,000	212,291	△ 187,709	電話料金、OCN、郵送料、HP 保守料、コピー機代
支部総会税金	55,000	0	△ 55,000	
支部交流費同窓会	150,000	9,000	△ 141,000	大運動会 DVD 費(県外支部へ)
支部交流費学校	60,000	0	△ 60,000	
支 部 活 動 費	400,000	352,300	△ 47,700	(一律) 県外 5 万円、県内 2 万円、振込手数料
慶 弔 費	150,000	146,174	△ 3,826	慰霊塔献花年間契約金、慰霊塔供花、転退職先生方へ祝金
総 会 費	0	0	0	総会費補助(新型コロナウイルスにより懇親会中止)
事 務 費	550,000	512,194	△ 37,806	事務局員賃金
雑 費	50,000	34,370	△ 15,630	南日本新聞年間買広告掲載代
予 備 費	2,240,500	0	△ 2,240,500	
合 計	4,315,500	1,417,089	△ 2,898,411	

収 入	4,393,803	支 出	1,417,089	残高/次年度繰越金	2,976,714
-----	-----------	-----	-----------	-----------	-----------

総会会計 R2 決算

収入の部 (単位 円)				
科 目	予算額(A)	決算額(B)	増減(B)-(A)	備 考
前年度繰越金	2,450,163	2,450,163	0	
会 費	0	0	0	懇親会中止(新型コロナウイルスの為)
広 告 費	0	0	0	懇親会中止(新型コロナウイルスの為)
南日本新聞	0	0	0	
同窓会新聞	0	0	0	
雑 収 入	0	0	0	懇親会中止(新型コロナウイルスの為)
本 部 補 助	0	0	0	懇親会中止(新型コロナウイルスの為)
利 息	337	21	△ 316	預金利息
合 計	2,450,500	2,450,184	△ 316	

支出の部 (単位 円)

科 目	予算額(A)	決算額(B)	増減(B)-(A)	備 考
会 議 費	300,000	183,521	△ 116,479	交通費、謝金、弁当代等
通 信 費	100,000	64,940	△ 35,060	旧職員往復はがき、広告依頼文及び中止の案内、総会資料郵送料
印 刷 費	133,000	127,600	△ 5,400	封筒、チケット代
交 通 費	0	0	0	
広 告 費	0	0	0	
南日本新聞	0	0	0	
同窓会新聞	0	0	0	
看 板	0	0	0	
総 会 費	55,000	48,000	△ 7,000	厄払い及び慰霊祭初穂料
費 品 費	300,000	261,900	△ 38,100	景品代(来年度使用)
イ ベ ン ト 費	0	0	0	
当番幹事記念品費	0	0	0	
同窓会運営協力金	0	0	0	
部活動補助費	0	0	0	
手 数 料	3,000	698	△ 2,302	郵便口座手数料、振込手数料
予 備 費	1,559,500	0	△ 1,559,500	
合 計	2,450,500	686,659	△ 1,763,841	

収 入	2,450,184	支 出	686,659	残高/次年度繰越金	1,763,525
-----	-----------	-----	---------	-----------	-----------

教育振興会 R2 決算

収入の部 (単位 円)				
科 目	予算額(A)	決算額(B)	増減(B)-(A)	備 考
前 期 繰 越 額	36,442,269	36,442,269	0	
貸 与 回 収 金	60,000	195,997	135,997	奨学金全額返還 1 名
会 報 協 力 金	0	0	0	
寄 付 金	0	0	0	
雑 収 入	395	284	△ 111	
合 計	36,502,664	36,638,550	135,886	

支出の部 (単位 円)

科 目	予算額(A)	決算額(B)	増減(B)-(A)	備 考
助 成 金	400,000	460,550	60,550	同窓会入会記念品代、大運動会補助他
需 用 費	10,000	0	△ 10,000	
通 信 費	10,000	1,544	△ 8,456	
部活動奨励費	650,000	297,000	△ 353,000	
費 金	550,000	512,194	△ 37,806	
周年事業積立金	200,000	200,000	0	
記念事業実行費	1,322,336	0	△ 1,322,336	110 周年事業繰越分
予 備 費	33,360,328	575,550	△ 32,784,778	会報誌制作補助費、コロナ対策パネル一式
合 計	36,502,664	2,046,838	△ 34,455,826	

収 入	36,638,550	支 出	2,046,838	残高/次年度繰越金	34,591,712
-----	------------	-----	-----------	-----------	------------

一般会計 R3 予算

収入の部 (単位 円)				
科 目	R3年度(A)	R2年度(B)	増減(A)-(B)	備 考
前年度繰越金	2,976,714	2,195,378	781,336	
入 会 金 会 費	2,120,000	2,120,000	0	生徒 200 円×1,060 名×10 ヶ月
同窓会運営協力金	0	0	0	総会会計より(新型コロナウイルスにより懇親会中止)
寄 付 金	0	0	0	
雑 収 入	0	0	0	
利 息	286	122	164	
合 計	5,097,000	4,315,500	781,500	

支出の部 (単位 円)

科 目	R3年度(A)	R2年度(B)	増減(A)-(B)	備 考
定 例 会 費	150,000	150,000	0	定例役員会
幹 事 会 費	0	150,000	△ 50,000	資料発送(会議は新型コロナウイルスにより中止)
需 用 費	60,000	60,000	0	事務用品、名刺、封筒
通 信 費	590,000	400,000	190,000	電話料金、OCN、郵送料、HP 保守料、コピー機代
支部総会税金	55,000	55,000	0	県外・県内支部総会参加費
支部交流費同窓会	150,000	150,000	0	県外・県内(市内除く)支部総会旅費(同窓会役員)
支部交流費学校	60,000	60,000	0	県外・県内(市内除く)支部総会旅費(学校)
支 部 活 動 費	380,000	400,000	△ 20,000	一律県外支部 5 万円、県内支部 2 万円
慶 弔 費	150,000	150,000	0	慰霊塔献花年間契約金、転退職先生方へ祝金
総 会 費	0	0	0	総会補助(新型コロナウイルスにより懇親会中止)
事 務 費	550,000	550,000	0	事務局員賃金、事務室電気使用料
雑 費	50,000	50,000	0	南日本新聞年間買広告代
予 備 費	2,902,000	2,240,500	661,500	
合 計	5,097,000	4,315,500	781,500	

総会会計 R3 予算

収入の部 (単位 円)				
科 目	R3年度(A)	R2年度(B)	増減(A)-(B)	備 考
前年度繰越金	1,763,525	2,450,163	△ 686,638	
会 費	0	0	0	懇親会中止(新型コロナウイルスの為)
広 告 費	3,000,000	0	3,000,000	懇親会中止(新型コロナウイルスの為)
南日本新聞	3,000,000	0	3,000,000	200 口×15,000 円
同窓会新聞	0	0	0	作成無し(新型コロナウイルスの為)
雑 収 入	0	0	0	
本 部 補 助	0	0	0	
利 息	475	337	138	預金利息
合 計	4,764,000	2,450,500	2,313,500	

支出の部 (単位 円)

科 目	R3年度(A)	R2年度(B)	増減(A)-(B)	備 考
会 議 費	310,000	300,000	10,000	交通費、謝金、弁当代等
通 信 費	165,000	100,000	65,000	郵送料(広告依頼、総会資料送付、モバイルFAX 等)
印 刷 費	5,000	133,000	△ 128,000	コピー用紙等
交 通 費	0	0	0	懇親会中止(新型コロナウイルスの為)
広 告 費	2,130,000	0	2,130,000	
南日本新聞	2,130,000	0	2,130,000	南日本新聞、版下代
同窓会新聞	0	0	0	作成無し(新型コロナウイルスの為)
看 板	0	0	0	作成無し(新型コロナウイルスの為)
総 会 費	130,000	55,000	75,000	厄払い、慰霊祭、引継ぎ式等
費 品 費	0	300,000	△ 300,000	R2 年度執行
イ ベ ン ト 費	300,000	0	300,000	
当番幹事記念品費	200,000	0	200,000	学校へ寄贈
同窓会運営協力金	300,000	0	300,000	同窓会一般会計へ(益金が出た場合のみ)
部活動補助費	300,000	0	300,000	
手 数 料	5,000	3,000	2,000	銀行振込手数料等
予 備 費	919,000	1,559,500	△ 640,500	
合 計	4,764,000	2,450,500	2,313,500	

教育振興会 R3 予算

収入の部 (単位 円)				
科 目	R3年度(A)	R2年度(B)	増減(A)-(B)	備 考
前 期 繰 越 額	34,591,712	36,442,269	△ 1,850,557	
貸 与 回 収 金	0	60,000	△ 60,000	R2 年度で全額回収済
会 報 協 力 金	0	0	0	
寄 付 金	0	0	0	
雑 収 入	288	395	△ 107	利息
合 計	34,592,000	36,502,664	△ 1,475,664	

支出の部 (単位 円)

科 目	R3年度(A)	R2年度(B)	増減(A)-(B)	備 考
助 成 金	500,000	400,000	100,000	ビジネスマナー研修他、差額は周年事業積立金へ
需 用 費	0	10,000	△ 10,000	
通 信 費	10,000	10,000	0	
部活動奨励費	650,000	650,000	0	一般会計補助分を一本化
費 金	550,000	550,000	0	
周年事業積立金	200,000	200,000	0	
記念事業実行費	1,322,336	1,322,336	0	110 周年事業繰越分
予 備 費	31,359,664	33,360,328	△ 2,000,664	
合 計	34,592,000	36,502,664	△ 1,910,664	

関東支部

関東支部の元吉と申します。1974年工芸科卒業です。前任の坂中相談役のご指名により支部長に就任いたしました。宜しくお願い致します。

昨年・今年とコロナ感染症の感染拡大により関東支部は、感染防止策として主要メンバーによる少人数で最小限の幹事会を実施し、他の幹事にはメール発信により情報共有と意思疎通を進め、非対面での運営を進め、令和2年・3年と総会の中

止を決定しました。幹事全員での幹事会は丸一年以上開催出来ない状況です。

そんな中で、昨年の12月に第73回全国高等学校バスケットボール選手権大会に母校が会場し、運よく家族席での観戦が出来ました。第1Qは苦戦を強いられましたが、それ以後は互角かそれ以上の



関西支部

例年であれば6月下旬に実施される関西支部総会で、コロナの影響により、集合型の総会懇親会は行いませんでした。ただし、支部

会員に総会資料を送付して、議決案の決着を仰ぐといった昨年引き続き2年連続となる取り組みを行いました。昨年の暮れは悲しい出来事

がありました。それは長年この関西支部にとって嬉しいの関西支部の同窓会活動を二コースです。コロナ禍でも新支えて下さった大先輩の是枝清上相談役が永眠されたこととです。

コロナ禍にも関わらず大勢の方に見送られて旅立たれました。またこの1年で女性幹事が2人も誕生したことは

副支部長 東義明
(S59建築科卒)

中部支部

新型コロナウイルスが猛威を振るう中、支部総会をはじめ様々な行事が中止・延期「あゆみ」と呼ばれ、愛知期になっていますが、予定表の語源になったと言われている昨年の大きな行事を確認すると、毎年4月に開催された「愛知鹿兒島県人会花見」や「中部屋久島会（屋久島を愛する会）」の中止が最も古い記録となっています。

中部支部設立当初の中心とした「愛知鹿兒島県人会花見」や「中部屋久島会（屋久島を愛する会）」の中止が最も古い記録となっています。そんな中、6月定例の中部支部総会も開催できず、一連の行事を心待ちにする我が身にとって、何とも寂しい状況が1年半も続いたことになりました。今年も中止となりました。仕事の上でも優秀な先輩方の築きあげた鹿工大仏様が鎮座する東海市の聚楽園公園で例年開催されてきました。東海市は、臨海部に日本製鉄（株）名古屋製鉄所を始め愛知製鋼・大東特殊鋼など企業群を抱え、「ものづくり愛知」を支えています。支部運営の面では、職域

組織の時代から現在まで、延々と頑張つて来られた幹事長に感謝する一方で、負担軽減とスキル伝承の面からも、心から祈っています。

愛知幹事 川崎一
(S50電気科卒)

「緩やかに次の世代に引き継いでいけるか」が重要な課題になっています。コロナ禍で幹事会開催もままならない中ではありますが、強力に幹事長を支える事務局長や、「若手会」なるものを結成してまとまっている若手グループを中心に、皆で知恵を出し合つて息の長い議論をしていくことになります。



中国・四国支部

中国四国支部は、9県という広域管轄でブロック・県域体制下「温もりのある、心の通う中国四国支部」を旗印に近隣同窓生に寄り添った同窓会活動を実践しています。今春新卒者12名を迎え、254名が在籍しています。

諸般の事情で2年連続中止「相互親睦」「母校部活動支援」「新卒者含む若手のサポーター」3本柱で地域、企業体の同窓生の繋がりをサポートする中で、信頼や共感が得られ、将来に渡り持続可能な状態を目指しています。現在は各県域に臨時予算

を配分、近隣幹事が SNS 活用による情報交換、動画メッセージ、リモート会議など新しい生活様式を取り入れ、新しい同窓会活動の創造に取り組んでいます。

支部長 大園 盛隆
(S59 建築科卒)

九州支部



令和 3 年鹿児島工業高等学校同窓会が昨年度に引き続き「新型コロナウイルス感染症」蔓延の影響で中止になり残念であります。年に一度城山で同窓生の皆さんと顔を合わせ、安全第一を考えての決定でいたしかたない事でした。全国の同窓会各支部の総会・懇親会も五月中旬に会員各位に「昨年に引き続き取り止める事は、残念でありますし、また、牧之内名誉顧問の計報に接し断腸の思いです」の内容で中止の葉書を郵送した次第です。

今後とも母校と卒業生の益々のご発展と同窓生の皆様のご健勝、御多幸を祈念し、社会活動のいち早い回復を願って御挨拶いたします。

支部幹事長 徳光 達夫
(S59 建築科卒)



鹿児島工業土木・建設技術会

鹿工の土木科は昭和二六と改称し、池田安則会長(1951年)に県庁、市(昭和42年卒)のもと活躍所、建設会社の技術者養成をしてあります。本年度のために、定時制として発の総会は、十月二十三日足、その後昭和三年(1956年)に全日制に移行され、平成三年(1991年)には、公立学校再編整備に伴い、鹿児島工業はの益々のご発展と、在校生の入学選抜方法を本県初の無制限の可能性へのチャレンジを系方式に充実され、土木科期待し、関係者の皆様のごは「建設技術系」に改称、健康ご多幸をお祈りいたします。

入学して二次に自分の適性を生かした専攻を決める方法となり、女子生徒が建設技術系に進み、クラスの三割ほどが在籍しています。三十年を経た現在、彼女たちは、官庁、建設コンサルタント、建設会社などで人と環境に優しい地域作りに活躍しております。これに伴い、同窓会名称を「鹿児島工業土木・建設技術会」



どんこ会

連日の猛暑とオリンピックの熱戦もあいまって今年の皆様におかれましては、は例年にも増して暑い夏とお健やかに過ごしのこと

と存じます。

この度、どんこ会第十代会長を仰せつかりました萩原敏幸でございます。また、何卒宜しくお願い致します。同時に役員改選も行われ、若い世代を交えた新体制となりました。同窓生の有志からなる鹿児島工業どんこ会が発足53年という長きにわたる活動してこられたのも、ひとえに会員の母校愛と結束の力だと感じているところでございます。

状況を見据えながらの活動となっておりますが、日々鍛錬を続けている生徒と益々のご繁栄を心よりお祈り申し上げ挨拶と致します。このような状況の中ではありますが、同窓会の益々のご発展と、皆様のご健康と益々のご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

会長 萩原 敏幸
(大塚校長、萩原会長、江藤相談役)

「スポーツ奨励金贈呈」

(大塚校長、萩原会長、江藤相談役)





クラス会

◎昭和45年土木科卒業生が 古希クラス会開催

12月5日 昭和45年土木科卒業生有志は鹿児島工業高校に集まり、古希のクラス会を開催しました。校舎と同窓会館を見学したあと、隣接する護国神社でお祓いを受けました。懇親会場はコロナ感染予防をしている天文館のスナック「スペース」です。担任の脇田先生と同窓生7人で乾杯したあと、在学中の出来事や現在の健康状態などの話で、楽しい時間を持てました。なお、脇田先生は令和3年5月にご逝去されました。



幹事 山崎洋、横手純男

◎昭和40年建築科卒業生が 指宿温泉で忘年会開催

12月2日 昭和40年建築科卒業生8名は指宿シーサイドホテルに集まり、忘年会で親交を深めました。毎年4回行う飲み会は新型コロナウイルスのため自粛しましたが、思い切つてGOTOトラベルを利用して1泊での同窓会をしました。



幹事 福田憲光

◎電気科33会はハガキで近況報告

昭和33年電気科卒業生有志は新型コロナウイルス感染予防のため、令和3年の同窓会の形式をそれぞれの近況報告のハガキを編集する形式としました。20名の同級生と1名の同級生のご遺族からメッセージがありました。担当していただいた池ノ上先生への長寿祝い(102歳)の挨拶もありました。

33会代表 宮路俊一

ゴルフコンペで勇退を慰労 鹿児島県高等学校野球連盟 理事長退任

現鹿児島工業高校教諭 中森敏朗氏 (S56年建築科卒)は鹿児島の高校野球に尽力され、理事長在籍6年9ヵ月の任期を全うし今年3月31日 勇退されました。

母校硬式野球部OB会は慰労を兼ね、ゴルフコンペを開催する運びとなり同窓会会長、副会長も参加されコンペを盛り上げて頂きました。

小雨まじりの天候ではありましたが皆さんのゴルフ熱?工業愛?が勝る日和となり、最後の18ホールまで諸先輩方と楽しくプレーできましたこと感謝申し上げます。



硬式野球部 OB 会

秋空の下で 第73回大運動会を開催

鹿工の伝統と未来



令和2年9月19日 鹿児島市の伊敷グラウンドで大運動会が開催されました。新型コロナウイルス感染の予防対策として、やぐら設置の中止や観戦者の制限などが行なわれるなか、「乗り越えようこの壁を!未来を照らせ鹿工の炎」のテーマの下、今年も熱い戦いが繰り広げられました。

優勝した団体は、競技の部で「ムカデ競争杯」や「工業杯」を獲得した白団(電気技術系)、応援の部は平成22年以来久しぶりに黄団(建築、建設技術、インテリア)が勝ち取りました。女子の部は2年生が制しました。紫団(電子機械系)と緑団(情報技術、工業化学)はよく戦いましたが、来年以降の活躍が期待されます。

溢れる情熱と鹿工魂

バスケットボール部 全国高校選手権出場

鹿児島工業高校男子バスケットボールは、第73回全国高校選手権鹿児島県予選の決勝戦でれいめい高校に勝ち、12月23日武蔵野の森総合スポーツプラザで開幕した全国高校選手権で英数学館(広島県)と戦いました。鹿工は立ち上がりでシュートが決まらず攻めあぐねている隙に、相手が次々に得点を決めて前半で20点近くリードされました。後半、守備からリズムを作り、3点シュートなどで粘りましたが、78-89で敗れました。



弓道部(女子)

全国高校選手権出場

12月15日 鹿児島市の西原商会アリーナで2020年度鹿児島県高校選手権があり、弓道部(女子)は団体戦で15年ぶりに優勝し、全国高校選抜大会の県代表となりました。12月26日 岐阜県の岐阜メモリアルセンターで決勝トーナメントに出場し、不来方高校(岩手県)と戦い7-8で惜敗しました。



ソフトボール部

全国高校選抜大会で準優勝

鹿児島工業高校ソフトボール部は、2020年度全国高校選抜大会に出場しました。3月30日 和歌山県の紀の川市民公園多目的広場で決勝戦が行われ、啓新(福井県)に2-3で惜敗しました。優勝に次ぐ成果を上げました。

ラグビー部

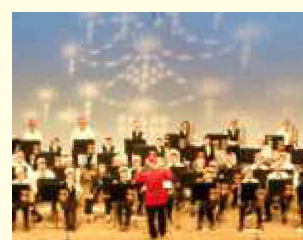
花園出場に届かず

第100回全国高校ラグビー大会県予選の決勝戦が11月15日鹿児島市の白波スタジオであり、鹿児島工業高校ラグビー部は鹿児島実業高校に7-43で敗れて準優勝し、九州ブロック予選「オータムチャレンジトーナメント」へ進むことになりました。

福岡を除く九州7県の準優勝チームが全国大会出場権を懸けて戦う「オータムチャレンジトーナメント」の決勝戦は11月23日大分県湯布院スポーツセンターであり、鹿工は5-57で長崎南山高校に敗れました。花園ラグビー場への出場は優勝チームのみであるため、願いは叶いませんでした。

第46回定期演奏会を宝山ホールで開催

鹿児島工業高校吹奏楽部は、令和2年定期演奏会を12月24日鹿児島市の宝山ホールで開催しました。ステージには田中さなえ部長はじめ51人の部員の他、10数名のOBとOG並びに顧問の米丸、吉元、馬場先生が参加して、マーチやクリスマスソング、ポップスを軽快に演奏しました。観客からは演奏パフォーマンスに対して、盛大な拍手がありました。会場では新型コロナ感染予防のために、マスク着用や間隔をあけての着席などの対策が取られていました。



薩摩狂句



小森 寿星 (こもり・じゅせい)

本名は小森寿生 昭和 40 年電気科卒業南さつま市出身
九州電力(株)退職後、鹿児島県の歴史風土、文化への思いから
薩摩狂句に出会い、現在はNHK鹿児島「ひるまえクルーズ
かごしま」の薩摩狂句の選者で活躍中です。

薩摩狂句の作品投稿を希望の方は

- ①名 前 ②年・科卒 ③連絡先
④ペンネームをお書き添えの上

ホームページ・郵送・FAX でご連絡ください

ホームページ 》 <http://rokkoob.jp>

● ラーフルを入口ち挟すで
楽しゆ待つ

● 大寝坊ん目覚しや隣家も
目覚ませつ

● 美人じゃろちマスクん顔い
思ちやみつ

● 菊の花ね埋ろごちや無で
養生をしつ

薩摩狂句

小森 寿星

ふるさと母校応援プロジェクト

ふるさと納税制度を活用し、「母校の頑張っている取組を応援したい」、「母校の教育環境整備に役立ててほしい」という方から学校を指定して寄付する仕組みが設けられました。令和 2 年度からは寄附額の全額を学校の特色ある取組に活用出来るようになりました。引き続き皆様方のご協力をお願いします。

令和元年度から 3 年度までに 211 万円の寄付をいただいております。2 年間は繰り越せるということで、本年度中に計画を立て、令和 4 年度に使用される予定です。

詳しくは
ホームページを
ご覧ください



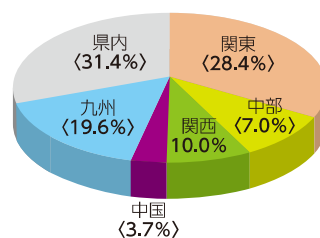
令和 2 年度就職・進路の状況

「19年連続就職内定率 100%を達成！」

令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、就職選考が例年より 1 ヶ月遅れの 10 月 16 日から始まりましたが、その影響を感じさせる事なく、19 年連続就職内定率 100%を達成することができました。また、求人情数においては、9 年ぶりに減少したものの、その業種については、飲食店、卸売業、サービス業の減少が中心で、情報通信業や電気・ガス供給業、建設業は増加しました。これもひとえに各方面で活躍しておられる先輩方のおかげであると感謝しております。進学については大学・短大・専修学校に 83 名が進学し、国公立の大学・短大では、鹿児島大学に4名、鹿児島県立短大に2名が合格しました。

進路先		決定者（名）			比率
		合 計	男	女	
就職 271	県内企業	71	61	10	76.6%
	県外企業	178	159	19	
	公務員	20	19	1	
	縁故就職・自家業	2	2		
進学 83	大学	37	36	1	23.4%
	短大	8	6	2	
	職能開発施設等	5	4	1	
	専門学校 等	33	27	6	
その他					0.0%
卒業生数		354	314	40	100%

就職先都道府県順位	1 位	鹿児島県	85 名
	2 位	福岡県	47 名
	3 位	東京都	35 名
	4 位	大阪府	20 名
	5 位	愛知県	19 名
	6 位	千葉県	17 名
	6 位	神奈川県	17 名



年 度	関東	中部	関西	中国	九州	県外合計	県内	就職者合計
令和 2 年度	77	19	27	10	53	186	85	271
令和元年度	85	23	33	12	40	193	72	265
平成30年度	86	31	35	9	43	204	80	284

同窓会名誉会員一覧

同窓会名誉会員一覧

【平成二十四年度】 山下 忠弘 昭和十六年卒 機械 副会長 (令和一年十二月御逝去)	【平成二十三年度】 牧之内 繁男 昭和十七年卒 機械 会長 (令和一年十二月御逝去)	【平成二十二年度】 内村 實 昭和十八年卒 建築 副会長	【平成二十一年度】 上山 一吉 昭和二十三年卒 建築 副会長	【平成二十年度】 木ノ下 良男 昭和二十六年卒 建築 副会長	【平成十九年度】 宮内 清二 昭和二十七年卒 機械 副会長	【平成十八年度】 山下 研一 昭和二十八年卒 機械 副会長	【平成十七年度】 杉山 典令 昭和二十九年卒 工芸 副会長	【平成十六年度】 中島 博夫 昭和三十年卒 工芸 副会長	【平成十五年度】 鶴田 高義 昭和三十一年卒 定土 副会長	【平成十四年度】 是枝 清上 昭和三十一年卒 電気 副会長	【平成十三年度】 丸峯 正治 昭和三十一年卒 機械 副会長	【平成十二年度】 宇田 一朗 昭和三十一年卒 監事	【平成十一年度】 上塘 誠 昭和三十一年卒 副会長	【平成十年度】 四本 誠 昭和三十一年卒 副会長	【平成九年度】 宮下 幸二郎 昭和三十一年卒 中部支部	【平成八年度】 永山 光幸 昭和三十一年卒 関西支部	【平成七年度】 大和田 靖憲 昭和三十一年卒 (令和三年六月御逝去)	【平成六年度】 鶴木 孝人 昭和三十一年卒 九州支部	【平成五年度】 尾郷 良幸 昭和三十一年卒 九州支部	【平成四年度】 上原 勝 昭和三十一年卒 九州支部	【平成三年度】 原田 健一 昭和三十一年卒 薩摩川内支部	【平成二年度】 濱田 英俊 昭和三十一年卒 副会長	【平成一年度】 伊地知 好和 昭和三十一年卒 副会長	【平成元年度】 福田 光一 昭和三十一年卒 副会長	【令和元年度】 田中 昇 昭和三十一年卒 中部支部	【令和元年度】 田崎 義雄 昭和三十一年卒 中国四国支部	【令和元年度】 内山 純多嘉 昭和三十一年卒 中部支部	【令和元年度】 竹本 眞 昭和三十一年卒 副会長	【令和元年度】 廻 光一 昭和三十一年卒 副会長	【令和元年度】 古川 純二 昭和三十一年卒 副会長	【令和元年度】 福重 睦雄 昭和三十一年卒 副会長	【令和元年度】 倉狩 勉 昭和三十一年卒 副会長	【令和元年度】 坂中 国彦 昭和三十一年卒 副会長	【令和元年度】 瀬戸口 幸子 昭和三十一年卒 副会長	【令和元年度】 坂本 達郎 昭和三十一年卒 副会長
--	--	---------------------------------------	---	---	--	--	--	---------------------------------------	--	--	--	------------------------------------	------------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------------	-------------------------------------	---	-------------------------------------	-------------------------------------	------------------------------------	---------------------------------------	------------------------------------	-------------------------------------	------------------------------------	------------------------------------	---------------------------------------	--------------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------	------------------------------------	------------------------------------	-----------------------------------	------------------------------------	-------------------------------------	------------------------------------

令和3年度同窓会役員一覧



副会長・事務局長

横手 純男

(S45土木科卒業)

同窓会運営 会報誌及び同窓会名簿



副会長

柳田 博文

(S42工芸科卒業)

メモリアルホール展示室整備



副会長

倉橋 利一

(S60電気科卒業)

役員会運営、ホームページ編集



副会長

中村 純一

(S46建築科卒業)

教育振興会



副会長

佐藤 俊一

(S48機械科卒業)

総会部会の運営指導



副会長・事務局長

畑 政治

(S38電気科卒業)

業務監査、会計監査



監査

白濱 由紀子

(S54インテリア科卒業)

業務監査、会計監査



相談役

牟田神 宗征

(S39土木科卒業)

会長諮問の対応

～新相談役挨拶～

鹿工同窓生の皆様お久しぶりです。第10代同窓会会長として多くの会員にお世話になりました。母校は学校耐震化のために6階建て本館建て替えを終えて、現在は実習棟を工事中です。鉄筋校舎への建て替え(1964年頃)以来、半世紀ぶりの教育施設拡充ですが、その途中でレンガ積み大煙突保存に安全上の課題が生じました。この折、永里会長と協力して、県の教育長に煙突の耐震工事を強く要望しました。県において全国に例のない文化財の補強工事がなされました。新校舎の中心に校歌にある「伊敷の原に聳え立つ大煙突」が雄姿を現します。これからも同窓生の皆様とともに発展に努めてまいります。よろしくお願いします。

牟田神 宗征

「会員名簿2022」の作成にご理解ご協力を

同窓会活動はじめ会員相互の連絡などに活用するために、5年ごとに同窓会会員名簿を作成しています。今回は平成27年に発刊しましたので、今回は令和4年発刊に向けて、(株)サルトと委託契約をしました。名簿作成にあたりましては、個人情報の保護の視点で取り組みます。年内に住所などを照会する文書がサルトから郵送されますので、ご協力をお願い申し上げます。前回どおり、会員が住所や電話番号の掲載の可否を決定していく方法で行います。

同窓会運営協力金のお願い

「ろっこう」は同窓会活動や母校の近況を案内する冊子で、会員相互の絆を深める情報手段でもあり、継続することが重要と考えています。今年も、第11号をお届けすることが出来ました。「ろっこう」の発行につきましては、多くの会員並びに恩師の方々から頂いた協力金で賄う仕組みとなっております。令和2年度は多額の協力金（1,167件、267万円余り）をいただき、役員一同深く感謝しております。引き続き、会員皆様の一層のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

同窓会運営協力金の振込用紙を同封しておりますので、一口2,000円（コンビニでは1口、郵便局では何口も可）の寄付をお願い申し上げます。

同窓会ホームページに広告を掲載しませんか

同窓会ホームページでは卒業生が経営する企業からのバナー広告を募集しています。また、卒業生が勤務する企業からもバナー広告を募っております。すでに8社が広告掲載していますが、この機会に社名を広く卒業生へ広告案内してみませんか。

●4月から翌年3月までの掲載費用は6,000円（消費税込み）ですが、年度途中からの掲載費用は月額500円に月数をかけた額となります。

<http://rokkoob.jp>



■ 編集後記 ■

会報誌「ろっこう(11号)」の表紙写真は、4月7日の入学式後に同窓会館の前で記念撮影している風景写真です。学生も保護者も、晴れやかで希望に溢れた表情をしていました。全員が有意義な高校生活を送り3年後には卒業して、同窓会へ入会されることを期待しています。

発行所：県立鹿児島工業高校同窓会 / 発行人：会長永里和吉

事務局：鹿児島市草牟田二丁目57番1号(鹿工会館) TEL 099-239-1654 FAX 099-239-1862

仕分け・発送：(株)サルト / 印刷：山之内印刷 代表者 中島 淳 (H2土木卒)